

教材・教具名	腹臥位ポジショナー
対象児童生徒	肢体不自由児・者
制作のねらい	側湾の進行を防いだり，舌根沈下を予防したりするために日常的に数十分間腹臥位をとるようにしている。又，腹臥位をとりながら手指の感覚あそびを行ったり，頭部を保持する力や動きを促したりすることができるようになれば望ましい。しかし，腹臥位をとるにあたっては胃瘻部の保護に気を付けなければならないことがある。そこで，簡単に腹臥位がとれるよう体型や胃瘻部に合わせて穴を開けたこの教材を製作した。
使用法 及び 効果	腹臥位になる際に使う。自立活動の時間にマッサージや体操を行うときに使用したり，一日に一回は使用する。 腹臥位になることで体幹の湾曲の予防が出来るだけでなく，自発的な手の動きも目立つようになった。
作り方	1 頭部，肩幅，首下から臍までの長さを測る。 2 胃瘻部の場所を上下左右から測る。 3 スポンジを頭部と上半身がしっかり乗るようにカットする。 4 腹部は半円状にカットする。 5 胃瘻部に当たる部分をくり抜く。 6 カットしたスポンジの形に合わせてカバーを作る。
使用に際して の留意点 ・ その他	1 体の中心が真ん中に乗るようにし，肘をしっかりと床につける。 2 下ろす時には胃瘻部のペグが穴に引っかからないように気をつけて体を起こす。 3 顔の部分は汚れないようにタオルを敷いて使う。
教材・教具写真	